

エンドポイント用AMP Linuxコネクタ – ウィルス対策非互換性

内容

概要

[Cisco AMP for Endpoints Linuxコネクタとの既知のAV非互換性は何ですか。](#)

概要

このドキュメントでは、AMP for Endpoints Linuxコネクタのアンチウイルス(AV)の非互換性について説明します。

Cisco AMP for Endpoints Linuxコネクタとの既知のAV非互換性は何ですか。

AMP for Endpoints Linuxコネクタと干渉することが確認されているAVアプリケーションのリストは次のとおりです。

- RHEL/CentOS 6.xでのF-Secure Linux Security
- Kaspersky Endpoint Security。
- McAfee VSE for Linux
- McAfee Endpoint Security for Linux。
- RHEL/CentOS 6.xでのSophos Server Security 9
- Symantec Endpoint Protection。
- RHEL 7のカーボンブラック。
- Trend Micro DSA(Deep Security Agent)。

注：互換性のあるアプリケーションに問題を引き起こす可能性がある追加のアプリケーションまたは更新があります。詳細については、ユーザガイド、特にLinuxの章 (<https://docs.amp.cisco.com/en/A4E/AMP%20for%20Endpoints%20User%20Guide.pdf>) を参照してください。